

長岡地区納税貯蓄組合連合会 会長賞 優秀

高負担・高福祉

長岡市立秋葉中学校

三年 大崎 杏海

私は世界と比べて日本の消費税は高いのではないかと思っていました。そこで海外の消費税を調べてみると、スウェーデン、ノルウェー、デンマークの消費税率は25%と日本の消費税率を15%も上回っていることが分かりました。また、スウェーデン、ノルウェー、デンマークは北欧の国であり、二〇二三年の世界幸福度ランキングでトップ10以内に入っているという共通点がありました。スウェーデン、ノルウェー、デンマークの三国で幸福度が高いのは消費税が高いことが関係しているのではないかと考えました。まず、幸福度ランキングが2位と三国の中で最も順位が高かったデンマークの税金について調べてみたところ、消費税に加えて所得税は55%、自動車所得税は28%などとても高いなと思いました。しかし、デンマークでは出産費、教育費、医療費、介護費が無料ということを知り、驚きました。子供達の学費や老後の心配もなく暮らせることが幸福度が高い理由だと分かりました。

次に幸福度ランキング6位のスウェーデンの税金も医療、教育、福祉など、人々の生活の質を向上させるために重要なものも多く使われていると分かりました。だからこそ、負担が大きくても、国民が不満を抱かず、幸せに暮らせるのだなと思いました。また、「税金」はスウェーデン語で「skatt」と言い、この単語には「宝

物」という意味もあるそうです。私は税金の使い道について、あまり理解しておらず、プラスのイメージを持っていなかったけど、税金は私達の豊かな生活を保障してくれる「宝物」のような存在と考えれば、少しは良い印象をもてるなと思いました。

最後に、幸福度ランキング7位のノルウェーは日本と同じく高齢化が進んでいるけど、税金を高く設定することで高齢者向け社会保障サービスを充実させ、高齢者の社会参加を促す取り組みも行っていることを知りました。若い世代だけではなく、高齢者にも優しい国なので老後も穏やかに過ごせそうだなと思いました。

このように、税金が高い国では高負担な分それと同等、またはそれ以上のサービスを受けられることが分かりました。日本も税金が高い国ですがその税金がどこでどのような目的で使われているのが少し不明確な感じがするので、北欧の国々の良い所を真似して、日本の幸福度がどんどん上がると良いなと思いました。今後、私が日本以外に住むとしたら、デンマークなどの北欧に住んで老後まで豊かに暮らしたいです。